

平成 2 6 事業年度

決 算 報 告 書

国立大学法人佐賀大学

平成26年度決算報告書

国立大学法人佐賀大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	11,573	11,086	△ 487	(注1)
うち補正予算による追加	—	—	—	
施設整備費補助金	2,806	2,150	△ 656	(注2)
うち補正予算による追加	—	1	1	
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	539	744	205	(注3)
国立大学財務・経営センター施設 費交付金	52	52	—	
自己収入	21,476	21,387	△ 89	
授業料、入学料及び検定料収入	4,278	4,247	△ 31	(注4)
附属病院収入	17,025	16,799	△ 226	(注5)
財産処分収入	13	—	△ 13	(注6)
雑収入	160	340	180	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金 収入等	1,312	1,842	530	(注8)
引当金取崩	160	121	△ 39	(注9)
長期借入金収入	1,501	1,231	△ 270	(注10)
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	713	1,212	499	(注11)
計	40,132	39,824	△ 308	
支出				
業務費	33,222	32,982	△ 240	(注12)
教育研究経費	13,170	13,513	343	
診療経費	20,052	19,468	△ 584	
施設整備費	4,359	3,416	△ 943	(注13)
うち(鍋島)総合研究棟改修 (医学系)事業	—	1	1	
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	539	732	193	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金 事業費等	1,312	1,551	239	(注15)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	694	687	△ 7	(注16)
国立大学財務・経営センター施設 費納付金	6	—	△ 6	(注17)
計	40,132	39,368	△ 764	
収入-支出	—	456	456	

○予算と決算の差異について

- (注 1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特別運営費交付金が交付されたが、業務達成基準を適用した事業の繰越により、予算額に比して決算額が 4 8 7 百万円少額となっています。
- (注 2) 施設整備費補助金については、主として「(鍋島) 総合研究棟改修 (臨床系)」が翌年度に繰越になったため、予算額に比して決算額が 6 5 6 百万円少額となっています。
- (注 3) 補助金等収入については、補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が 2 0 5 百万円多額となっています。
- (注 4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料の徴収対象となる在学者数が減少したこと等の理由により、予算額に比して決算額が 3 1 百万円少額となっています。
- (注 5) 附属病院収入については、手術件数の減少等により、予算額に比して決算額が 2 2 6 百万円少額となっています。
- (注 6) 財産処分収入については、売却予定の土地が売却できなかったため、予算額に比して決算額が 1 3 百万円少額となっています。
- (注 7) 雑収入については、受取利息、有価証券利息及び返納金の増収により、予算額に比して決算額が 1 8 0 百万円多額となっています。
- (注 8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として寄附金等の獲得に努めたことから予算額に比して決算額が 5 3 0 百万円多額となっています。
- (注 9) 引当金取崩については、任用計画の見直しにより、引当計上目的に従って当年度に使用した額が減少したため、予算額に比して決算額が 3 9 百万円少額となっています。
- (注 10) 長期借入金については、病棟・診療棟の改修事業が翌年度に繰越になったこと及び佐賀大学職員宿舎及び留学生宿舎整備事業の借入時期を変更したため、予算額に比して決算額が 2 7 0 百万円少額となっています。
- (注 11) 目的積立金取崩については、一部計画の見直しを行ったため、予算額に比して決算額が 4 9 9 百万円多額となっています。
- (注 12) 業務費については、業務達成基準を適用した事業の繰越及び業務実施にあたり経費節減に努めたこと等の理由により、予算額に比して決算額が 2 4 0 百万円少額となっています。
- (注 13) 施設整備費については、(注 2) 及び (注 10) に示した理由等により、予算額に比して決算額が 9 4 3 百万円少額となっています。
- (注 14) 補助金等については、(注 3) に示した理由等により、予算額に比して決算額が 1 9 3 百万円多額となっています。
- (注 15) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、執行計画を見直したことにより、予算額に比して決算額が 2 3 9 百万円多額となっています。なお、前年度からの繰越額による使用額は 6 8 5 百万円となっています。
- (注 16) 長期借入金償還金については、借入利率の変更に伴い、予算額に比して決算額が 7 百万円少額となっています。
- (注 17) 国立大学財務・経営センター施設費納付金については、(注 6) に示した理由等により、予算額に比して決算額が 6 百万円少額となっています。